

## 令和3年度 第三学期始業式 式 辞

### 「式辞」

新年 あけまして おめでとうございます。

新しい年、そして 新しい学期を迎え、「今年は・・・、3学期は・・・これを頑張るぞ！」と、心に誓っている人も いるのではないかと思います。

まずは、今日、皆さんが元気に登校する姿を見ることができて、大変嬉しく思います。

さっそくですが、新しい年のスタートにあたり、皆さんに一つ ことばを贈ります。

それは、『カゴの中のバツタになるな！』ということばです。小さなカゴの中にバツタを入れ、一切外に出さず育てると、バツタは、「自分が生きている世界は、このカゴの中の高さしかない」と錯覚し、カゴの天井の高さまでしか飛べなくなる。つまり、自分の思考（考え方）に限界を設けると、その枠を飛び越えることはできなくなるという 例え話です。

私たちの普段の生活でも、ややもすると 現状に満足していることを言い訳に、新たなことに挑戦するのをためらったり、面倒くさがったり

します。目の前に やらなければならない事があ  
ったり、自分を変える・高めるチャンスが巡っ  
てきても、「どうせ自分は・・・」と、諦めてしま  
ったり、「今はちょっと忙しいから・・・」と理由  
をつけて、先送りしてしまい、みすみすその機  
会を逃してしまうことは、よくあることです。

「自分の限界を作っているのは自分自身である」  
ということばもあります。

今日から始まる3学期、そして2022年は、  
私自身も含め、人に言われたから・・・ではなく、  
自分で考えた しっかりとした目標を持ち、その  
実現に向けて 具体的に動く、挑戦する年にでき  
ればと思います。

そのためには、自分に安易な限界をつくらず、  
日々やるべきことに精一杯取り組み、3月の  
卒業式・修了式の日、3年生は「上遠野中学校  
に通えてよかった」、1・2年生は、「この学級で  
皆と過ごせてよかった」と、自分自身の確かな  
成長を感じることができるような3学期となる  
ことを願い、式辞といたします。

令和4年1月11日

いわき市立上遠野中学校長 西郡 美智広